

男女がともに輝くために

共に輝くみほの会
—美浦村女性行政推進協議会—

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)208

小さなことからコツコツと： 意識改革・共同参画

林 昌子

私は先日、共に輝くみほの会のメンバーたちと「SDGs講座」のワークショップに参加しました。

他団体の参加も多く、参加された方の「いろいろな立場で活動する団体が共に学ぶことで、より深い学びが得られる。」という言葉に共感し、SDGsにおいても男女共同参画推進の取り組みと同様に、個人の意識改革や多様な主体の共同参画が大切であることを実感しました。



誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指すSDGsは、3つの側面（経済・環境・社会）から捉えた17のゴールを2030年までに解決していくこうとする世界共通の目標です。

環境破壊や地球温暖化に起因する異常気象は深刻で、近年、豪雨や巨大化した台風などによる大規模な自然災害が私たちの身近で起きています。また、経済や環境の変化とともに社会も変化し、家族や地域の関わり方が希薄化してきているように感じます。

このようにSDGsの3つの側面は相互に関連し合い、身近な日常生活に大きく波及するものです。持続可能な社会の実現に向けた「意識改革」「共同参画」と言っても、具体的に何をすれば良いのかピンとこないかもしれません。私はいつも『小さなことからコツコツと：』をモットーにしています。

例えば「意識改革」は、捨てればゴミ、生かせば資源（エコキャップを回収して、リサイクル業者に届けています）。「共同参画」は、多様な地域の方と交流し、学びあいや社会

活動を実践しています。



企業や行政機関などが目標を掲げて取り組み、子どもたちが学校で学んでいるSDGs、17のゴールは個々の問題ではなく、統合的に解決すべき課題であることを今回改めて認識しました。

性別や年齢、立場などにとられず、多様な主体が共に語り合い、身近な諸課題と向き合い行動することで、未来の日本を、美浦村を創る子どもたちに、負の財産ではなく、温かいコミュニティのある地域を提供していけたらと願います。

’22冬の語らい 次世代につなぐ
～女性リーダーを招いて～

共に輝くみほの会 座談会

◇日時 12月18日(日)
午後1時30分～3時
◇場所 美浦村中央公民館大ホール

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「新・米」(一字以上詠み込み)

そぞろ歩きの新婚さんは影も茜に秋の道

趣味の琴音を響かす友の元氣願って祝米寿

場所が移って新たな気持ち見える景色は薔薇色に

稽古踏ん張る新人力士弟子を育てる二所ノ関

目出度重なり家族で祝う喜寿の妹姉米寿

ルース越えたよ大谷選手新記録は不滅なり

炊けた新米香りもつやもキラリ輝きのどが鳴る

米寿迎えて心も新たなスマホ・パソコン挑む女

パンにコーヒー老母には合わぬやはり田圃でとれた米

農家精出し刈り取る稲穂今年お初の新米旨し

好きなだけでは買えない値段苦笑して見る新サンマ

猪口に一杯味わう新酒八十路最後の誕生日

夫婦新米成長子等と泣いて怒って笑った日

苦難乗り越え米寿の祝い孫も集って母笑顔

実る稲穂に新米無事に父の合わす手苦がにじむ

霞浦の湖風黄金の波よ美浦は自慢の米どころ

妻は早起き新婚頃は今じゃ朝寝の古女房

濟んだ刈り入れ眺めてホッと夕餉御馳走新米だ

米の刈あど驚たちむれて虫をおいかけ駆け回る

十月の俳句(題 当季雑詠)

清爽な薫の香まとふ朝の風

母のセル裾切りおとし子を背負ふ

秋さやかさやかに風の通りけり

大鳥居鹿島の杜の天高し

雑木林天辺撫で行く秋の風

三回忌集う家路の野紺菊

桜紅葉日々集めても散りやまず

女王逝去ロンドン塔に秋の虹

初恋の話し膨らむ温め酒

家具の変えとんと身に入む齢かな

一隅を照らす教えや秋の寺

秋海室ひそかに路地に色添えて

微睡める時間ゆつくりと木犀香

蕎麦畑空に溶け込む花の海

(五十首)

石戸 律華

伊藤 葉子

井戸 賀蘇道

上野 八千代

小藪 江久美

門脇 悠美

木村 幸米

酒川 夢花

篠原 美千代

関根 秀子

高橋 一步

田島 草実

塚本 夏雲

沼寄 朋香

長谷川 悦子

増尾 青蓮

山岡 亜子

山岸 錦洋

山崎 泰弘

(五十首)

青野 安佐子

石毛 恵美子

市川 紀行

海道 民子

木澤 はしめ

小林 美佐恵

高柳 幸子

田島 早苗

中島 輝子

長田 敏笑

増尾 尚子

松葉 統子

宮崎 きみ枝

村崎 典子

